

日本農業遺産

Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems



若狭町・美浜町
三方五湖の風景

三方五湖の汽水湖沼群漁業システム (福井県三方五湖地域)

塩分濃度が異なる5つの湖で、400年以上の歴史を有するたたき網漁等の獲りすぎない伝統漁法、漁獲量や漁期の申合せ、相互監視などにより豊富な生物多様性が保全されている。



三方湖
400年以上の歴史を有するフナ・コイ漁「たたき網漁」

システムの成り立ちは江戸時代に遡り、「若州(じゃくしゅう)うなぎ」や「シジミ」は日本最高級の汽水産物として京都へ運ばれ、当湖の漁業価値を高めてきました。その価値は現代に引き継がれ、漁業者や地域住民、多くの観光客に恩恵を与えています。

本地域では5つの湖と周辺集落、里地、里山で形成され「たたき網漁」等の獲りすぎない漁法、漁獲量や漁期の申合せ、漁業者間の相互監視などにより豊富な生物多様性が保全されています。里山の柴を漁具に使用し、捕れた魚は地域内で消費するなど、自然資源を地域内で循環させています。周辺集落に点在する神社や祭礼は地域の絆と安寧を生み、漁業を中心に地域的まとまりを形成しています。



久々子湖 「シジミ漁」



漁業を支える豊富な魚種



神社に奉納される湖の恵み